

不死の道

問一、「衛人」読み方

① 昔、人に不死の道を知ると言ふ者有り。

② 燕の君人をして之を受けしむ。

問二、現代語訳

③ 捷やかならずして、言ふ者死す。

問三、「急いで行かなかった」のは誰

問四、「捷やかならずして」を傍線注釈

④ 燕の君甚だ其の使者を怒り、将に誅を加へんとす。

問五、「其の使者」とは誰

問六、現代語訳

⑤ 幸臣諫めて曰はく、

「人の憂ふる所の者は、死より急なるは莫し。

問七、現代語訳

⑥ 己の重んずる所の者は、生より過ぎたるは莫し。

問八、つまり、「生」が（ ）ということ。

⑦ 彼自ら其の生を喪へり。

問九、「彼」は誰

⑧ 安くんぞ能く君をして死せざらしめんや。」と。

問十、現代語訳「君をして死せざらしむ」

問十一、現代語訳「安くんぞ能くAんや」

⑨ 乃ち誅せず。

問十二、「乃」の訳

⑩ 斉子なるもの有り、亦其の道を学ばんと欲す。

問十三、「亦」とは何を受けて「また」なのか

⑪ 言ふ者の死せるを聞き、乃ち膺を撫して恨む。

問十四、「死せる」を品詞分解

問十五、「言者」とは

問十六、現代語訳

⑫ 富子聞きて之を笑ひて曰はく、

問十七、「之」何を指す

「夫れ学ばんと欲する所は不死なり。

問十八、「所欲学」訳

⑬ 其の人已に死して、而も猶ほ之を恨む。

問十九、「其人」誰を指す

問二十、「之」何を指す

⑭ 是れ学を為す所以を知らず。」と。

問二十一、「是」何を指す

問二十二、「所以為学」訳

問二十三、「知」についている返り点を「レ」にしてもよいか

品詞分解 書き下し文を古文と同じように品詞分解する

君使 P86

☆「人」は受けたのか、これから受けるのか？（漢文に時制は無い。過去・現在・未来は文脈で考える。）

将 P32

所者 P154 P204 莫乎 P102 乎 於

安、能、令 P66 P125 P86

乃 P178

亦欲 P164 P128

之 P120

夫所欲 P208 P128 P154

猶 P135

為、所以 P150 P213

⑮ 胡子曰はく、「富子の言は非なり。
問二十四、「富子之言」とは
問二十五、「非」訳

⑯ 凡そ人には術有りて行ふ能はざる者、有り。
問二十六、訳
問二十七、何を「不能行」か

⑰ 能く行ひて其の術無き者も、亦有り。
問二十八、「其」何を指す

⑱ 衛人に数を善くする者有り。
問二十九、訳

⑲ 死に臨みて訣を以つて其の子に諭す。
問三十、「其」何を指すか抜き出す

⑳ 其の子其の言を志すも、
問三十一、「其言」何を指すか抜き出す
問三十二、訳

而も行ふ能はざるなり。
問三十三、品詞分解

ある人
・他人之を問へば、
問三十四、「他人」は何と尋ねたか、言った言葉を推測
問三十五、「問へば」訳

其の父の言ふ所を以つて之に告ぐ。
問三十六、「其父所言」何を指すか抜き出す
問三十七、「之」何を指すか抜き出す

・問ふ者其の言を用ゐて、其の術を行ふに、
問三十八、現代語訳
問三十九、「問者」何を尋ねたか
問四十、「其言」何を指すか抜き出す
問四十一、「用ゐて、其の術を行ふに、」品詞分解

其の父と差ふ無し。
問四十二、何と何が「無差」か

問四十三、次の者たちは下のa～dのうちどれか
善数者 子 他人

・若し然らば、
問四十四、「若然」訳
問四十五、「然」何を指す

死者奚為れぞ生術を言ふ能はざらんや。」と。
問四十六、「生術」Ⅱ(?)
問四十七、「死者」は下のa～eのうちどれか
問四十八、現代語訳
問四十九、はどういうことを言っているのか
「()が死んだとしても()は(本当／嘘)だ。なぜなら()。」
問五十、あなたが考える・のa～dの身近な具体例を挙げなさい。

不能
p41

以
p116 ※この場合、
「を」と訳すが、送り
仮名で「を」とあるので、
訳さなくてよい。

以
p116

a 能行而有其術
b 不能行而无其術
c 能行而有無其術
d 不能行而有其術
若 p121 4つの読み方

然 p175
奚為 哉 p211

a 言者
b 君
c 善数者
d 子
e 他人